

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【公表番号】特表 2005-509462 (P2005-509462A)

【公表日】平成 17 年 4 月 14 日 (2005.4.14)

【年通号数】公開・登録公報 2005-015

【出願番号】特願 2003-503411 (P2003-503411)

【国際特許分類第 7 版】

B 2 6 B 21/60

B 2 6 B 21/56

【F I】

B 2 6 B 21/60

B 2 6 B 21/56

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 3 月 22 日 (2005.3.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

モノリシックな細長の切断エッジを有する C V D ダイヤモンド層を含む刃。

【請求項 2】

前記切断エッジが真直ぐな切断エッジである請求項 1 に記載された刃。

【請求項 3】

前記切断エッジの長さが少なくとも 10 mm である請求項 1 または 2 に記載された刃。

【請求項 4】

前記切断エッジの長さが少なくとも 20 mm である請求項 1 または 2 に記載された刃。

【請求項 5】

前記刃がかみそり刃である請求項 1 または 2 に記載された刃。

【請求項 6】

前記切断エッジの長さが 30 mm から 45 mm までの範囲にある請求項 5 に記載された刃。

【請求項 7】

C V D ダイヤモンド層が、50  $\mu$ m から 400  $\mu$ m までの範囲の厚さを有する請求項 1 から請求項 6 までのいずれか 1 項に記載された刃。

【請求項 8】

前記 C V D ダイヤモンド層が、150  $\mu$ m から 275  $\mu$ m までの範囲の厚さを有する請求項 7 に記載された刃。

【請求項 9】

前記 C V D ダイヤモンド層が、矩形、正方形、または三角形の形状を有する請求項 1 から請求項 8 までのいずれか 1 項に記載された刃。

【請求項 10】

前記切断エッジの先端から 40  $\mu$ m の距離における刃の有効全角が、12° から 28° までの範囲にある請求項 5 から請求項 9 までのいずれか 1 項に記載された刃。

【請求項 11】

前記切断エッジ先端から 40  $\mu$ m の距離における前記刃の有効全角が、15° から 25° までの範囲にある請求項 5 から請求項 9 までのいずれか 1 項に記載された刃。

。までの範囲にある請求項 5 から請求項 9 までのいずれか 1 項に記載された刃。

【請求項 1 2】

前記切断エッジ先端から 40  $\mu$ m の距離における前記刃の有効全角が、17°から 23

。までの範囲にある請求項 5 から請求項 9 までのいずれか 1 項に記載された刃。

【請求項 1 3】

前記切断エッジ先端が、60 nm 未満の半径を有する請求項 1 から請求項 1 2 までのいずれか 1 項に記載された刃。

【請求項 1 4】

前記切断エッジ先端が、40 nm 未満の半径を有する請求項 1 から請求項 1 2 までのいずれか 1 項に記載された刃。

【請求項 1 5】

前記切断エッジ先端が、20 nm 未満の半径を有する請求項 1 から請求項 1 2 までのいずれか 1 項に記載された刃。

【請求項 1 6】

前記刃が対称な刃である請求項 1 から請求項 1 5 までのいずれか 1 項に記載された刃。

【請求項 1 7】

前記刃が非対称な刃である請求項 1 から請求項 1 5 までのいずれか 1 項に記載された刃

。